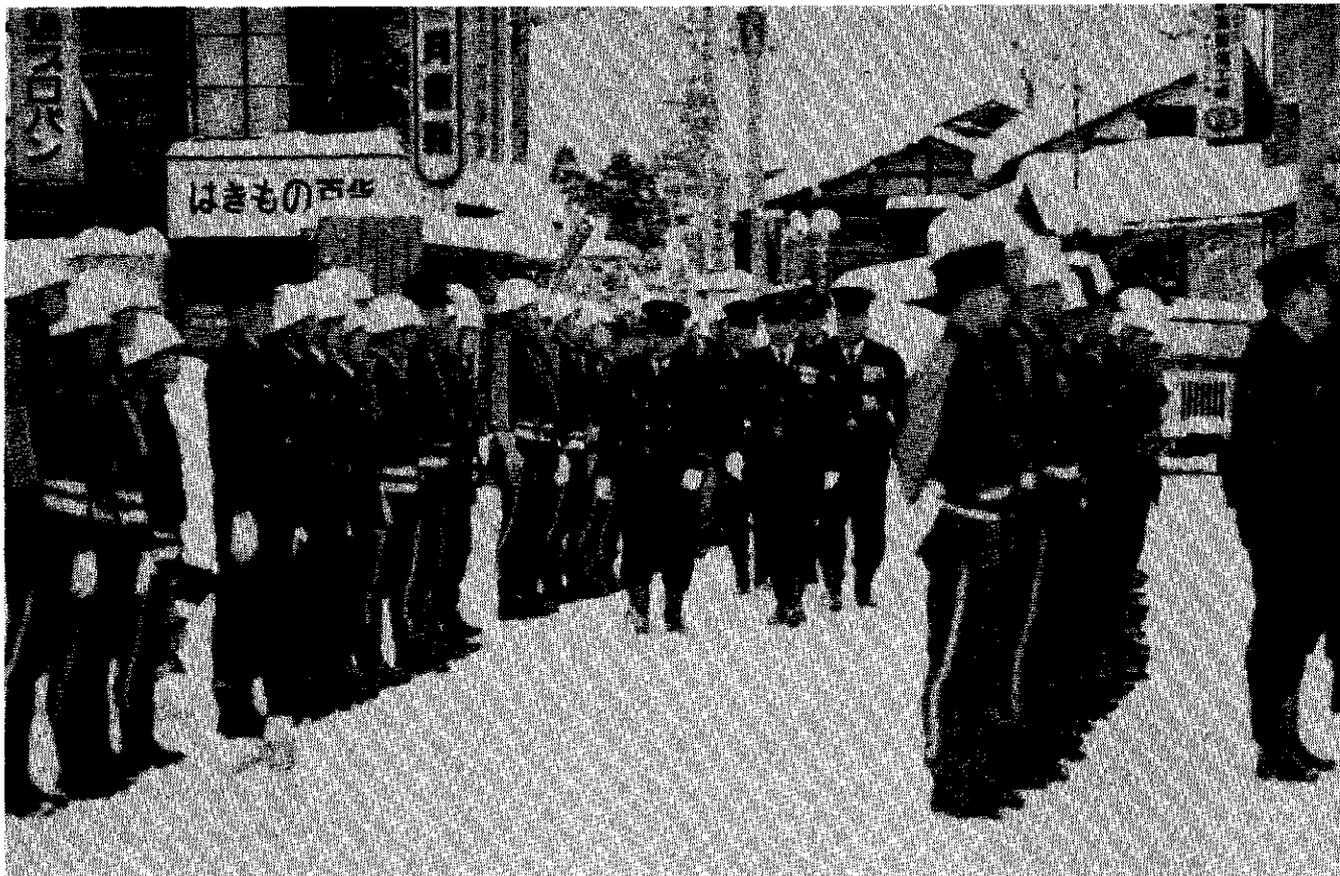




かわにし 広報

人口の動き	
1月1日現在	
男	5,773 (-14)
女	5,927 (-24)
計	11,700 (-38)
世帯数	2,543 (-14)
()内は前月との比較	

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社



出 ぞ め 式

恒例の6日の出ぞめ式のもようから

(役場前で写す)

町政コーナー

年末総選挙による無投票で二十二名が選出された。総合開発計画の策定。計画行政の基本となる総合開発計画が八月二十八日に審議会から町長に答申された。

6. 県営かん排事業の推進。県の提示した概要書にもつき、同意書取りまどめが行なわれ、百歩に近い同意を得た。

7. 国鉄発電工事完成。半世紀にわたる国鉄発電工事が完成し、千手発電所三十周年を兼ねて盛大な祝賀会が開催された。

8. 除雪体制の整備。車両の増強、消雪パイプの設置等施設の整備とともに除雪協力が組織され、町ぐるみの除雪態勢が整った。

9. 学校統合の推進。教育委員会を中心に関係住民と話し合いが続けられ、前向きでこの問題と取り組む体制が作られた。

10. 年末総選挙。選挙結果の大きい波紋は別として、辺地の男子投票率の異質が印象的であった。三〇多台という投票率は、出かきで男のいない選挙部長の実態を語って余すところがない。(M)

行 事

- 一月
- 十日 選挙管理委員会
- 十一日 大塚婦人会新春娯楽大会
- 十二日 新年度予算編成打合せ会
- 十三日 農業共済評価員会議(橋地区)
- 十三日 議会土厚委員会
- 十四日 消防幹部会
- 十五日 仙田地区新春娯楽大会
- 十九日 戸田婦人学級
- 二十日 定例教育委員会
- 二十二日 中仙田老人学級
- 二十三日 構造改善会議
- 二十六日・二十七日 同日にわたって町議会臨時会
- 三十日 農業共済評価員会議(上野・千手地区)

町議会十二月定例会 条例は五件を一部改正

議員が一般質問

第十回川町議会定例会は暮れの十八日に招集となり、翌十九日と会期二日あり、昭和四十三年度の一般・特別各会計決算の認定、町職員の給与・スを改正するたの關係条例の一部改正等を行ない、ほかに請願二件を審議して閉会した。

また、この定例会で田中三郎氏はかみ職員が町政に対する一般質問を行ない、根津町長はじめ関係課長が答弁に立った。

職員給与を改定

まず、第一月十八日は専任処分の承認一件、条例の一部改正五件を審議、いずれも原案どおり可決・承認したあと、四十三年度一般会計・同区保事業特別会計・同国庫施設特別会計・同農業共済特別会計の各歳入歳出決算を認定、新編川町市町村職員恩給組合資産管理組合規約の変更についても議決を行なった。

このうち、専任処分の承認は十四年度一般会計補正予算(第五号)の件で、衆議院議員選挙費・稱作特別対策費・林業費のそれぞれについて専任処分したものを、今回の補正によって、一般会計は三億七千四百九十三万八千円の規模となった。

また、条例関係の改正は職員給与条例・教育長の給与旅費支給条例・例・特別職の給与旅費支給条例・例、特別職の給与旅費支給条例、火葬場条例の各一部改正である。これらの改正に伴い、職員の給与は人事院報告によって十四年六月にさかのぼって改定され、特別職の給与も教育長七万二千円、町長十万円、助役八万二千円、収入役七万七千円となった。

なお、火葬場条例の改正は火葬場の使用料を、十四歳以上一体について二千円、十四歳未満は千四百円に、同じく霊きゆう自動車の使用料を走行距離十キロ未満は千三百円、十キロを超えるときは一キロについて六十円を加算するというもの。また、手引き霊きゆう車の使用料は百円となる。

一般質問は

農業問題に集中

二日目の十九日に行なわれたのは一般質問と請願の審査である。町政に対する一般質問は、前記の田中氏以下、発言順に水際達一、数藤三、上村忠雄・須藤寛蔵・平野圭二・市川富二・登坂茂・村山義雄・笹野一郎・高橋弥太郎の各氏から、○給与所得者の住民税減税 ○ほ場整備と関連諸問題 ○遍珠対策と観光行政 ○へき地保育所の改善 ○民生の安定 ○役場庁舎の増築 ○国・県道の改修促進 ○作付転換の問題 ○災害復旧について等がただされた。

これに対し、根津町長・水島税

務課長・佐藤産業課長、星名土木課長が答弁に立ち、計画減税をはじめとする町の方針を説明した。請願については、継続審査となっていた「老人の福祉対策について」は保留となり、新規の「中心田部解雇水道施設設置」請願が土厚委員会付託となり、きたる十三日の委員会で審査される。

今月の心配ごと相談日

日常生活のあらゆる相談をお引き受けする心配ごと相談。一月の定例相談は次の予定ですからご利用になってください。

【相談日】
十四日・二十一日、二十八日
時間はいずれも午後一時から三時まで。
相談員は藤本秀雄さん。藤

保母試験のお知らせ

皆さんの自宅は伊友で、電話は三手局六一〇番です。二月十九日から二十三日までの四日間、新潟県の保母試験が行なわれます。願書受付は十日から二月五日まで、受験を希望される方は、細部について社会課へお尋ねになってください。

仙田に雪中看護婦

仙田へき地診療所に雪中看護婦を派遣し、真冬を越えて、医療問題で心配の多い地域の要請にこたえることになりました。

これは、仙田連合婦人会(半田リト会長)が昨年秋に主催した「た」と町王させていただきます。

わたしの議会傍聴記

仁田 木村アヤ

新年おめでとうございませう。町議会を傍聴してまず感じたのは、開会時刻が確保されていること、やはりさすがだと思えました。緊張した空気が時間の経過につれてやわらいだようですが、口禍する問題に取り組んでいる議員のみなさんの真剣な姿を目の前にして、頭の下がる思いでした。



それと、町長さんのごりっぴな態度、町長というのはこうでなくてはならないんだなあと感心させられました。

そして、町長さんのごりっぴな態度、町長というのはこうでなくてはならないんだなあと感心させられました。

議案はどれも町の発展のために欠かすことのできないもので、中でも、出かせぎの問題は切実



毎月郵便局からいただいた「広報」を拝見したら、年賀状で任

○ 学期が始まりました。寒

○ さたけは相変わらずですが、もう正月気分は抜けて教室の空気が春を帯び、学習にも身がはいつているのではなうね。また、新しく小学校へあがる子どもたちを持つ家庭でも、すでに仙田地区の場合就学時の健康診断が済んだしこれからという大手・上野・橋地区の子どもたち同様、学校という集団生活にはいる準備やら、さぞ希望に満ちた毎日というところでしょうか。

○ 十日は大寒(だいかん)のことみうえで、寒の入り的小寒後十五日目当たる日、寒がわりともい、この日から寒さも一段ときびしくなってきました。水道管や井戸のポンプが凍って、台所仕事の主婦にとってつらい毎日が続きます。みんなが協力しあい、節度のある家庭生活を心がけながらこの冬の冬ものりきってしましましょう。

園児の募集期限

川西幼稚園は二月十四日 千手保育園は一月三十日

四月に川西幼稚園と千手保育園にそれぞれ入園する幼
児を募集しております。五歳児は川西幼稚園で、入園願
書は二月十四日までに教育委員会に提出するよう。また
千手保育園では三・四歳児あわせて六十人を募集いたし
ますが、この方は、申請書に父母の勤務証明等を添え
て、今年三十日までに社会課まで申し込んでいただきます。

募集要領

川西幼稚園

募集の対象

- イ 五歳児(昭和三十九年四月二日から四十年四月一日までの間に生まれたもの)であること。
- ロ 千手小学校の通学区域内に住所を有するものであること。

手続き

- イ 決められた入園願書に必要な事項を記入して、教育委員会へ提出してください。
- ロ この願書の提出期限は二月十四日です。

ハ 願書は役場の窓口を用意してあります。

千手保育園

募集人員

- ・三歳未満児 六人
 - ・三・四歳児あわせて五十四人
- 募集の対象
- 保護者の就労や病氣等の理由

病氣等により、集団生活が困難な場合は御遠慮ねがいます。

赤い羽根 歳末たすけあい の募金結果

昨年十月一日に始まった赤い羽根共同募金・恵まれない人たちに明るいお正月をと実施した歳末たすけあい募金は、いすれも、みなさんのご理解によって目標額を完納することができました。ご協力を感謝いたします。

なお、募金の状況を配分の結果を次のとおりご報告いたします。

- 赤い羽根
 - 〇戸別募金 二四五八八円
 - 〇大口募金 一〇一四円
 - 〇学校募金 一三、七九四円
 - 〇たすけあい育成費から 五〇、〇〇〇円
 - 合計 三二〇、六五六円
- この赤い羽根共同募金から、四十五年度の活動費として、町社会福祉協議会へ十九万五千円が配分されることになっております。
- 歳末たすけあい (十二月二十三日現在)
- 〇戸別募金 〇戸別八万一千四百七十七円
 - 〇大口募金 〇大口三万二千円
 - 〇社会福祉協議会 三万九千四百四十三円
 - 〇配分 〇生保世帯 二万七千五百五十円
 - 〇母子世帯 二万五千五百円
 - 〇身体障害児 千円
 - 〇身体障害(一・二級)者 二万八千五百円
 - 〇現たすけ老人 一万三千五百円

千五百円 〇福祉施設入所児童へ五千五百円 〇重度心身障害者・児へ二千五百円 〇老人ホーム入所者及び施設へ七千五百円 〇特別養護老人ホーム入所者へ五百円 〇後保設指導所入所者へ五百円 〇長期入院患者四万二千円 ほか送金手数料等が二千四百円 以上で、合計すると募金・配分とも十五万一千五百九十円になります

この、歳末たすけあいで配分の対象になったのは、たとえは町で長期入院されているかたは八十四人を数え、これらのかたに合計で右のようなお見舞を差し上げたということとす。なお、現たすけりのご老人は二十七人、老人ホーム入所者は十一人となっております。

嘱託員さま

- 〇千手地区
 - 〇山野田、外口鉄治 〇上町、酒井幸平 〇沖立、教藤健治 〇中央町、小野塚政市 〇田中、石沢理平 〇伊友、藤本秀雄 〇学校町、関口源治郎 〇坪山、中村克巳 〇下平、田中四郎 〇発電所通、田中久松 〇鶴吉、五村葛作 〇菊条、丸山安王 〇平見、市川彦平 〇中島町、柳辰男 〇四郎兼、長野新一 〇中屋敷、小林三雄 〇木島、小林由一 〇東善寺、宮徳次郎 〇寺尾、山井貞一
- 〇檜地区
 - 〇寺ヶ崎、山崎武治 〇仁田、羽鳥和夫 〇塩辛、藤巻勇 〇野口、瀧野水勝 〇根原、丸山茂吉 〇大落、和久井豊治

民俗資料

【12月分】

※寄贈者(敬称略・受付順)
中村義雄(大島町) 高橋コノ

〇仙田地区
〇岩瀬、小川増太郎 〇藤沢、小林一雄 〇赤谷、小川金吾 〇越ヶ沢、小川伊作

(学校町) 丸山寛治(原田) 中村山蔵(坪山) 高橋銀一(上町) 星名イシ(上野) 星名ミイ(伊友) 貴多ハマ(伊友) ※おもな入手品
ランプ オブケ 献茶用茶わん 御名身シク(ウラ掛けとも) 戸だな 著段 ねこ車 ハン 江戸時代の測量器一式 髪かざり たび

総選挙

一票のゆくえ

このおぼろさんの真剣な様子と、ちやうど投票所の人の流れがとれたわすかな余裕が、投票事務に従事していたわたしにカメラを持たせました。おぼろさんが投票を終えると、あとは

また、ひとしきり、陣り積もった雪の白さのように、こんご数年間の自分たちの生活をかけた一票の行使が続くのでした。



暮れの二十七日に執行された衆院選。当日の有権者数は男三千七百六十四人、女四千一百三十三人。投票者数は男二千七百六十三人、女三千三百九十人で投票率は、男子が七三、四一% 女子八二、〇二%、全体で七七、九二%。

各候補者の得票数は
届出順に、大竹太郎五百八十三票・高島修千八百八十三票・木島喜兵衛千九百十二票・須藤友三郎七十一票・塚田徹千六百十五票という結果でした。

選挙が済んで、わたしたちは白い雪の中にしみのあったことを知りました。

たしかに選挙は済みましたが、しかし、それは同時に、汚名をすすぐスタートになったのです。

広報スケッチ

(Z)

タバコは町内で買ひましょう

だれに言われるでもなく、自分から進んで納めている税金があり、それは「たばこ消費税」です。

識されていないようですが、それも道理、厳密に言うなら納めているのは専売公社だからでしょう。

しかし、それで済ませてしまおうのはちょっと待ってください。

あなたが抱負にならなければならないのはこの種類・値段のいかんにかかわらず売上本数の多少によって、川西町にはいつでもたばこ消費税額が左右されるのです。

四十三年度に町へ納付されたたばこ消費税は約八百万円、同じく四十四年度予算の歳入に組み込まれた税額は約一千万円という大きな額にのぼり、あなたの何気ない「プカリと一服」が町の財政に大きく寄与し、橋や道になっっているのです。

たばこ消費税は、ドコのダレが買おうと、たばこが売れた市町村に納付されます。

税額の算定はどうかという点と、どんなたばこでも一本の値段を三円六十四銭一厘とみなし、これに一・八、一割の税率を掛けます。したがって、一本あたりの税金は六十五銭九厘、二十本入り一箱では十三円十八銭となり、この計算で、あなたが町でお買いになる分のたばこ消費税が、自動的に

川西町に納められています。算定の基礎になる一本あたりの値段は随時改定され、ほかに、県にも一〇、三割の税金が納付されますが、たばこはゼヒ町内でお買い求めになってください。

源泉徴収票等法定資料の提出期限は三十一日です

次の支払調書を期限までにお忘れなくご提出をお願いします。

- 支払内容別の調書の種類
- 俸給・給料・賞与・年金の支払いは・・・給与所得の源泉徴収票
- 収票
- 退職手当・一時恩給の

支払いは・・・退職所得の源泉徴収票(市町村民税の特別徴収票)

原稿料・印税・講演料等の支払い
司法書士・建築士等への報酬・料金の支払い、外交員・集金人等への報酬・料金・契約金の支払い、広告・宣伝のための賞金の支払い等は・・・報酬・料金、契約金及び賞金の支払調書

地代・家賃・権利金・名義書料等の支払いは・・・不動産の使用料等の支払調書

土地・家賃等の譲り受けの代金の支払いは・・・不動産等の譲り受けの対価の支払調書

なお、ご不明の点がありましたら、税務署または市町村の税務課にお問い合わせください。(十日町税務署)

所得税の還付を受けられる皆さんへ

還付申告書の受け付けは一月から行なっており、税務署では早く還付できるように準備いたしておりますので、早めに申告されるようおすすめます。

申告期限の三月十六日がせまりますとたいへん混雑し、また税金の還付も遅れますので、なるべく確定申告の始まる二月十五日以前に申告し、還付を受けるようにしてください。(十日町税務署)

文化財が

どっさりこぼ

名塚春三先生(新町新田)が土器や石器等貴重な埋蔵文化財数千点を町に寄贈された。

名塚先生が十日町の高校にお勤めのかたわら、川西郷を中心とした考古遺跡からの出土器・石器等を収集し、分類・復元・保存されていたことは、すでに関係者の間で高く評価されていた。その先生が、一身上のご都合で、この春には小田原市へ転出されることになった。



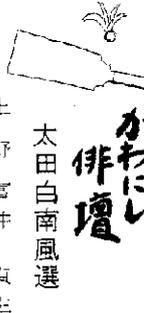
という申し出を断わり、町に役だつならとそっくり寄贈して下さったもの。マイクコバズン、小型トラックいっぱいのは文化財は、写真のように、とりあえず千手小の一室に納まった。

読書案内

- ◆農文協
 - 農家のくらしを考える 山田民雄編 二五〇円
 - 親の立場、子の立場 山田桂子編 二五〇円
 - ◆国土社
 - 日本の子どものしつけ 鈴木道太著 三四〇円
- ◆戸籍の窓から
 - うぶ声—おすこやかに
 - 茂野 一也 正男長男 藤澤
 - 中村 泰正 忠長男 坪山
 - 藤巻 直樹 健二男 塩辛
 - 藤巻 文雄 勇作長男 塩辛
 - 平野 恵理子 政利三女 木高
 - 中島 利恵子 徳栄長女 上野
 - 丸山 ゆり子 和徳四女 榎深
 - 星名 千晴 豊平長女 上野
 - 清水 芳浩 芳雄二男 下平新田
- たかさこ—二円満に
 - ◎新田 高登 日吉 高倉
 - ◎新田 昭田野三 新発田から
 - ◎新田 高橋 忠彦 坪山
 - ◎新田 円島 幸子 埼玉から
 - ◎新田 登坂 剛 額
 - ◎新田 矢口あや子 長野から
 - ◎新田 田中 昭 発電所通り
 - ◎新田 阿部 泰美 中里から
 - ◎新田 泰野 政雄 仁田
 - ◎新田 根津 愛子 上野から
 - ◎新田 丸山 樞大 根深
 - ◎新田 水登キヨミ 原田から
- ◎新田 内山 勝 新町新田
- ◎新田 若山須美子 新町新田から
- ◎新田 丸山 一郎 木落
- ◎新田 和田ノリ子 小千谷から
- ◎新田 中村 立美 坪山
- ◎新田 沼澤 静子 東京から
- ◎新田 星名 孝二 上野
- ◎新田 茂木美知子 福島から
- ◎新田 宮 和之 山野田
- ◎新田 柚屋 直澄 鹿角島から

昇天—ごめい福を祈る

- 清水 宏司 東善寺 二五
- 金井 卯平治 室島 六六
- 数藤 誠平 宇友 七六
- 登坂 ミ子 赤谷 七七
- 高橋 ミキ 三領 七九
- 蔵品 儀三郎 霜条 七九
- 高橋 ツタ 三領 八〇
- 茂野 サク 藤沢 八二
- 星名 ツナ 霜条 九一
- 上野 雷井 貞生
- 太田白南風選



母の背にありて蜜柑をいたたまし板の間の試み感かれて炬火のあり

埋りし家の小さく雪つづく

松風園 摩雪 文峯

肺老空背戸へ吹入る風の風

元町 田畑真洋(86才)

神の灯の下に米積み年を越す

寺尾 清水 紀風

除雪車の雪掃上げし力かな

新年雑詠 太田白南風

往き交す雪道二三初詣

萬葉を斜めに走り初日射

雪少なきことの御慶を交し合う